

令和6年度学校経営方針

丹波篠山市立大山小学校

1 学校経営の基本方針

兵庫の教育基本理念「兵庫が育む、こころ豊かで自立する人づくり」、丹波篠山市の教育理念「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」に基づき、人間尊重の精神を基調とした教育の実現に努める。全教職員の協働体制のもと、一人一人の児童の良さや可能性を見出し、伸ばさせるとともに、「社会に開かれた教育課程」「地域とともにある学校」の推進に努める。

- (1) 安全で安心して学べる教育環境づくり
- (2) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- (3) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- (4) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- (5) 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進
- (6) つながりと感謝を大切にした教育活動

2 学校教育目標

やさしく かしこく たくましく

～豊かなつながりを通して 夢を持って生きる子を育む～

チーム大山

3 めざす児童像

●心豊かでやさしい子

- ・明るく元気な挨拶をし、すすんで他者とかわる子
- ・思いやりの心もち、自分や友だちを大切にする子
- ・ふるさとを大切に、自然や美しいものに感動できる子

●よく学ぶ子

- ・計画を立てて進んで学び、わかるまで取り組む子
- ・よく聞き、よく考え、自分の言葉で表現する子
- ・毎日の授業を大切にしている子

●たくましい子

- ・目標に向かって粘り強く努力する子
- ・やるべきことを理解し、正しい行動がとれる子
- ・外で元気に遊ぶ子

4 めざす学校像

- ★子どもが楽しく笑顔で過ごし、
未来に必要な力をつける学校
- ★子どもと教職員が生き生きと学び、
成長する学校
- ★ふるさと大山に誇りをもち、
地域とともにある学校

5 めざす教師像

- ★子ども一人一人に寄り添い、
ともに歩む教職員
- ★個々の力を活かして高め合い、
協働・協力体制で取り組む教職員
- ★研鑽に努め、日々の授業を大切に、
教育活動に取り組む教職員
- ★児童・保護者・地域から信頼される教職員

6 重点実践目標と具体的取組

- ★ 居場所のある学校学級、出番のある授業
- ★ 子どもどうしの関わり合い・学び合いを創意工夫した教育活動
- ★ ふるさと大山とつながり、学びを深める教育活動のさらなる充実
- ★ チーム大山として、全教職員の協働体制の構築

(1) 安全で安心して学べる教育環境づくりに取り組む。

- ①安全点検や対策の改善、安全意識の向上を図る。
- ②安心できる学級づくりや一人一人の個性を生かした計画的な学級経営に努める。
- ③いじめや問題行動・不登校傾向等、未然防止・早期発見・早期対応に組織的に取り組む。
- ④ウィズコロナを意識した感染症対策に努め、児童の健やかな学びの保障を両立する。
- ⑤保護者・地域と連携した緊急時対応訓練の実施、登下校見守りの充実を図る。
- ⑥全教職員の協働体制を構築し、情報共有や児童理解に努める。また、スクールカウンセラー等専門家や専門機関と積極的に連携し、気になる児童の早期発見とコンサルテーションに努める。

(2) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実を図る。

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。
- ②学力の把握に基づくきめ細やかな指導の充実
 - ・国や市、学校の状況調査を活用、つまずき解消や系統性を重視した指導、個別の指導計画等
- ③学習習慣や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
 - ・PDCAサイクルを活用した漢字学習や計算学習、がんばりタイムの推進等
- ④タブレット端末、デジタル教科書等、ICTを効果的に活用した授業づくりに取り組む。
- ⑤本に出会い、読書する機会を増やす取組を学校・学級等において工夫して行う。
 - ・親子ふれあい読書の推進

(3) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実を図る。

- ①学級活動や縦割り班活動を活性化し、人と関わり合って学ぶ教育活動の充実を図る。
- ②他者や自己との「対話」による「深い学びをめざす」授業づくりと評価の充実を学校全体で組織的に取り組む。
- ③適宜適切な肯定的な評価を生かした指導を心がけ、自己有用感や自己受容を高める。
- ④楽しく体を動かす時間を確保し、様々な遊びやスポーツを体験させる。
 - ・のびのびタイムを生かし、学級や児童会（委員会、縦割り班）活動の充実
- ⑤地域とのつながりを深め、感謝の心やふるさとを愛する心を育む体験活動や探究学習の充実を図る。
 - ・ふるさとキャリア教育、地域資源（自然や人）の効果的な活用、SDGs、作品展

(4) 教職員の協働体制の確立と研鑽に努め、特別支援教育の充実を図る。

- ①チームで取り組む校内支援体制の構築とPDCAサイクルによる点検評価や共通理解を図る。
- ②個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を図る。

(5) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化を図る。

- ①校内研修の充実に向け、全教員で方向性を合わせて指導方法の工夫・改善を図り魅力ある授業づくりに取り組む。（特別活動の充実、学力向上、ふるさと教育、ユニバーサルデザイン等）
- ②様々な研修機会を活用して、全教職員が外部の研修に積極的に参加する。※全員一回以上
- ③日々、授業改善や学級経営等について具体的なOJT研修を行う。（管理職・先輩教員）
- ④ふるさとキャリア教育の充実と授業づくり（カリキュラム視）の研修を行う。
- ⑤各種委員会の定期開催等、諸課題に対して「チームとしての学校」という視点に立ち組織的・協働体制のもと指導を行う。

(6) 学校・家庭・地域と一体となった教育の推進をめざす。

- ①コミュニティ・スクール事業の推進
 - ・地域と協働した「大山っ子応援団」活動の拡充を図る。
 - ・児童の安全について、地域とともに見守る体制作りを行う。
 - ・学校・家庭・地域にとって魅力あるコミュニティ・スクール主催事業の実施に努める。
- ②地域人材の積極的な活用を図り、学校・家庭・地域が共に学び合う学習機会を作る。
 - ・クラブやふるさと教育での地域講師、学習支援者の活用、工夫した学習発表の機会等
- ③地域等と連携した緊急時対応訓練を実施する。
 - ・地域と連携した避難訓練、防災学習等
- ④学校便りやホームページを効果的に活用し、ふるさと教育や地域連携の情報発信に努める。

(7) 働きやすい職場環境づくりを進める。

- ①学校業務改善に向け、業務改善委員会の機能充実に努め具体的な取組を行う。
 - ・校務の情報化、スクラップ&ビルドの取組、会議の時間短縮等
- ②ワーク・ライフ・バランスに努め、教職員が生き生きと働き、そのことが学校教育の充実につながるよう全教職員の共通認識のもとで取り組む。